

おがさわら人とペットと野生動物が共存する島づくり協議会 令和3年度 事業報告

小笠原世界遺産センター動物対処室の管理運営及び施設を活用した事業実施を通じて、「人とペットと野生動物が共存する島づくり」を実現し、ひいては世界自然遺産に登録された稀有な生態系とそこに生息する野生動物を保全することを目的とし、関係機関・団体との協力のもと、(Ⅰ)外来種による被害や人為的影響等を受ける野生動物の保護、(Ⅱ)ペット由来の外来種である飼い主のいないネコ対策、(Ⅲ)ペット由来の外来種を生み出さないための適正飼養の推進、その他目的を達成するために必要な事業を実施する。

なお、(Ⅰ)、(Ⅱ)については、下部に設置した各部会にて協議会事業の具体的な事項の調整・検討を行うため、協議会予算化関連事業(※)を除き、報告のみとする。

(Ⅰ) 外来種による被害や人為的影響等を受ける野生動物の保護に関すること

(1) 小笠原希少鳥獣等に関する連絡調整部会の開催状況【環境省】

○第1回(4月20日)

- ・本部会設置の経緯と目的について
- ・昨年度の向島オガサワラカワラヒワの対策状況について
- ・傷病発生時の連絡体制について

(2) 希少鳥獣等の保護の状況【支庁産業課】

令和3年度に保護された野生鳥獣143個体(傷病鳥獣の一時保護飼養委託:87個体、その他56個体)のうち希少鳥獣は19個体。そのうち野生復帰は15個体、動物園搬送は4個体。詳細は次のとおり。

○アカガシラカラスバト:

保護4羽(野生復帰:2羽、動物園搬送:2羽)

○オガサワラオオコウモリ

保護10頭(野生復帰:8頭、動物園搬送:2頭)

○セグロミズナギドリ

保護4羽(野生復帰:4羽)

○オガサワラノスリ

保護1羽(野生復帰:1羽)

(3) 希少鳥獣等の治療状況【動物対処室:傷病鳥獣の診療等※】

○令和3年度に保護された野生動物143個体のうち、鳥獣保護管理員等から傷病個体の連絡や相談を受け、診療が必要と判断した14個体について、診察・治療を実施。飼育個体への処置は特になし。

○野生復帰したオオコウモリのりハビリの際、必要に応じて補助・助言を実施。

○詳細は、次の表のとおり。過年度実績は11頁以降を参照。

表：主な野生動物の対応実績（令和3年度）

| 保護 | | | 種 | 保護状況 | 動物対処室等の対応状況 | | | 結果 |
|------|----|----|-----------------|---------------------------|---|--------------------|----|--|
| 年 | 月 | 日 | | | 主な内容 | 期間 | 回数 | |
| 2021 | 4 | 14 | アカガシラ カラスバト | 父島長谷橋 うずくまり | レントゲン検査、 洗浄・消毒、皮下注射 | 2021.4/19~2 0 | 2 | 2021.4/20 多摩動物 公園に搬送 |
| 2021 | 4 | 19 | アカガシラ カラスバト | 父島長谷トンネ ルうずくまり | レントゲン検査、 洗浄・消毒、 皮下点滴・注射 | 2021.4/19~2 0 | 2 | 2021.4/20 多摩動物 公園に搬送 |
| 2021 | 6 | 29 | オガサワラ オオコウモリ | 父島桑ノ木山 ネット絡まり (妊娠中) | 血液検査、皮下点滴・注射、 翼膜洗浄・消毒 | 2021.6/29~9 /2 | 56 | 2021.9/10 野生復帰 |
| 2021 | 6 | 29 | オガサワラ オオコウモリ | 父島桑ノ木山 ネット絡まり | 血液検査、皮下点滴・注射、 翼膜洗浄・消毒 | 2021.6/29~8 /12 | 50 | 2021.9/10 野生復帰 |
| 2021 | 6 | 29 | オガサワラ オオコウモリ | 父島桑ノ木山 ネット絡まり (亜成獣) | 血液検査、皮下点滴・注射、 翼膜洗浄・消毒 | 2021.6/29~7 /30 | 45 | 2021.9/10 野生復帰 |
| 2021 | 7 | 25 | オガサワラ ノスリ | 洲崎ネコかご 混獲 | 状態確認 | 2021.7/25 | 1 | 2021.7/25 放鳥 |
| 2021 | 8 | 3 | オガサワラ オオコウモリ | 清瀬都住近くの 林でぶら下がり | 血液検査、レントゲン検査、 皮下点滴・注射 | 2021.8/3~10 /6 | 21 | 2022.1/3 野生復帰 |
| 2021 | 8 | 8 | オガサワラ オオコウモリ | 西町 ぶら下がり (亜成獣) | 血液検査、レントゲン検査、 皮下点滴・注射、外用薬 塗布、翼膜洗浄・消毒 ※右翼開放骨折 | 2021.8/8~11 | 6 | 2021.8/11 上野動物園に 搬送 |
| 2021 | 8 | 19 | アカガシラ カラスバト | バス営業所 バードストライク | レントゲン検査 皮下点滴・注射、 ICU(入院、保温) | 2021.8/19~2 0 | 2 | 2021.8/20 放鳥 |
| 2021 | 9 | 9 | オガサワラ オオコウモリ | 北袋沢 ぶら下がり | 血液検査、レントゲン検査、 皮下点滴・注射、 翼膜洗浄・消毒、マッサージ ※左上腕骨解放骨折 | 2021.9/10~1 9 | 11 | 2021.9/19 上野動物園に搬 送 →12/20 死亡 |
| 2021 | 9 | 25 | オガサワラ オオコウモリ | 母島評議平 ネットハウス 迷い込み | 皮下点滴・注射 | 2021.9/25~1 0/4 | 16 | 2021.10/9 野生復帰(母島) |
| 2021 | 11 | 11 | アカガシラ カラスバト | 宮之浜 バードストライク | 皮下注射、ICU、 レントゲン検査(死亡後)、 | 2021.11/11 | 1 | 2021.11/11 死亡 |
| 2022 | 3 | 4 | アカガシラ カラスバト | 母島村民会館 バードストライク | 皮下注射、 MRSA 検査→陰性、 レントゲン検査 | 2022.3/7 | 1 | 2022.3/9 野生復帰(母島) |
| 2022 | 3 | 6 | カツオドリ | 扇浦海岸 うずくまり | MRSA 検査(死亡後)→陰性 | 2022.3/8 | 1 | 2022.3/7 死亡 |

(4) 事故未然防止及び事故再発防止への対応状況【支庁産業課、環境省】

○交通事故防止看板の設置（洲崎道路：4/19-5/31、洲崎道路・小港道路：7/12-8/31、夜明道路・小港道路：12/27-1/31）【支庁産業課】

○ボードストライク防止用のボードセイバーの配付（12枚：うち高校10枚）【環境省】

(5) 普及啓発、その他情報共有等【環境省、小笠原村、IBO】

○治療のため内地に搬送したオガサワラオオコウモリ2個体からMRSA（メシチリン耐性黄色ブドウ球菌）が検出され、父島島内で感染した可能性が高い事から対応について検討中（1/26、3/4、3/8に関係者で打合せ）【環境省・小笠原村・IBO】

(Ⅱ) ペット由来の外来種である飼い主のいないネコ対策に関すること

(1) 小笠原ネコに関する連絡調整部会の開催状況【IB0】

○第1回(9月17日)

- ・ネコ対策状況共有と課題への取組み

(※専門家による外部評価の部会はR4年4月以降に実施予定)

○セミナー

- ・「島嶼生態系保全のための各島におけるイエネコ対策の現状や課題の共有化」のための意見交換会(オンライン会議)(11/2)主催 外来ネコ問題研究会
小笠原、御蔵島、奄美大島、徳之島、沖縄島北部、西表島、南大東島におけるネコ対策状況、現行法制度の課題について共有

○関係者によるWG・打合せ等

- ・母島の保護ネコ不適正飼養化防止に向けた打合せ(7/12 環境省・小笠原村・IB0)
- ・母島の保護ネコ不適正飼養化防止に向けた打合せ(8/5 環境省・小笠原村・IB0)

(2) 山域及び集落のネコ捕獲等の状況【環境省、村、IB0】

※R2年度までは、集落・農地で捕獲(保護)されたネコはノラネコとしていたが、R3年度からは同地域において餌やり実態のないネコはノネコ(ノラネコ予備軍)として扱う。移行期間のためR2とR3で一部区分けが異なる点に注意。

○捕獲数

令和3年度に捕獲されたネコ46頭のうち、ノネコは45頭(R2年度79頭)、ノラネコは0頭(R2年度14頭)、飼いネコは1頭(R2年度3頭)。ネコ待ちの出産子ネコは0頭(R2年度5頭)。詳細は次のとおり。

- ・父島山域ノネコ:28頭(R2年度51頭)【環境省】
- ・父島集落農地ノネコ:0頭(R2年度0頭)【村、協力:IB0】
- ・父島保護ノネコ:0頭(R2年度5頭※旧ノラ)
- ・父島飼いネコ:0頭(R2年度1頭)※誤捕獲
- ・母島山域ノネコ:15頭(R2年度28頭)【環境省】
- ・母島集落農地ノネコ:0頭(R2年度7頭※旧ノラ)【村、協力:IB0】
- ・母島保護ノネコ:2頭(R2年度2頭※旧ノラ)
- ・母島飼いネコ:1頭(R2年度2頭)※誤捕獲

○捕獲圧

- ・父島山域:83712 罨日(R2年度92245 罨日)【環境省】
- ・母島山域:14428 罨日(R2年度12487 罨日)【環境省】
- ・父島集落農地:703 罨日(R2年度0 罨日)【村、協力:IB0】
- ・母島集落農地:540 罨日(R2年度139 罨日)【村、協力:IB0】

○集落内の未登録ネコの状況把握及び捕獲【小笠原村】

→母島集落内のモニタリングを実施(通年)及び捕獲

(3) 捕獲ネコの治療状況【動物対処室：捕獲ネコへの対応※】

- 令和3年度に飼養施設（ネコ待合所）に滞在していたネコ50頭（R3年度46頭捕獲）のうち、担当者から連絡や相談を受け、処置・診療もしくは駆虫プログラムが必要と判断した18頭について、一次診療もしくは糞便検査を実施。
- 捕獲時に負傷した個体や衰弱個体、体調不良個体の11頭（R2年度捕獲1個体、R3年度捕獲10個体）には、爪切り・投薬等の各種処置、点滴、注射、内服薬処方、搬送先の病院向けの治療経過報告書作成等を実施。
- 一時飼養施設における捕獲ネコの体調管理の技術的補助として、駆虫プログラムの幼ネコ12頭に対する初回駆虫薬の選択のための糞便検査を動物看護師の協力のもと実施。駆虫薬費用に限って環境省事業で実費負担。

(4) 搬送状況【支庁産業課、動物協議会※】

- 搬送 51頭（R2年度96頭）（通算：997頭） R2年度捕獲含む
→うち7頭は動物協議会による有償搬送※
東京都獣医師会 新規受け入れ病院：3病院

(5) 捕獲ネコ受け入れの調整状況【環境省、東京都獣医師会】

- 登録病院数 187病院（R3年度末時点 東獣事務局と環境省で整理）

(6) 島内譲渡ネコへの対応（動物対処室、動物協議会※）

- 該当するネコがいなかったため未実施

(7) HP管理、譲渡促進等の普及啓発【IB0、動物協議会※】

<島内>

- ・母島小学校5年生校外学習・総合学習（南崎遠足）11月
- ・世界遺産科学委員会・地域連絡会議での事業説明
- ・オガサワラオオコウモリ保護増殖検討会での事業説明
- ・オガサワラカワラヒワ保護増殖検討会での事業説明
- ・遺産登録10周年記念番組「おがニャンプロジェクト」村ケーブルテレビ放送

<島外>

- ・感謝状贈呈
- ・HP管理（登録病院・タイル絵の更新、おがニャン番組配置）※
- ・「ヒワポップの日」オンライン講演会 12月
- ・筑波大学大学院世界遺産実習でのネコ対策オンライン講義 8月
- ・神奈川県秦野市立本町小学校5年生総合学習でのオンライン授業 12月
- ・遺産登録10周年記念番組「おがニャンプロジェクト」YouTube配信

(Ⅲ) ペット由来の外来種を生み出さないための適正飼養の推進

(1) ペットの飼養状況の把握【村、動物対処室】

表：ネコの登録状況と動物対処室及び母島獣医師受診状況

| 3月末時点 | 父島 | | | | 母島 ^{※4} | | | |
|--------------------------|--------|--------|--------|--------|------------------|--------|--------|--------|
| | 2011年度 | 2017年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2011年度 | 2017年度 | 2020年度 | 2021年度 |
| 台帳登録数 | 92 | 61 | 59 | 51 | 16 | 11 | 25 | 22 |
| 新規登録数 | - | 4 | 8 | 1 | - | 0 | 11 | 1 |
| 登録世帯数 | 59 | 44 | 39 | 35 | 7 | 6 | 17 | 15 |
| 最大多頭飼養数 | 13 | 4 | 4 | 4 | 4 | 3 | 3 | 3 |
| マイクロチップ装着率 | 85% | 91.8% | 94.9% | 100% | 63% | 90.9% | 100% | 100% |
| 避妊去勢率 | 96% | 96.7% | 100% | 100% | 100% | 100% | 96.0% | 95.5% |
| 室内飼養率 ^{※1} | 41% | 83.7% | 93.2% | 92.2% | 25% | 27.3% | 80.0% | 77.3% |
| 受診率(累積) ^{※2} | - | 36.7% | 71.2% | 80.4% | - | 18.2% | 88.0% | 54.5% |
| 飼い主受診率(累積) ^{※2} | - | 38.6% | 74.4% | 82.9% | - | 33.3% | 82.4% | 60.0% |
| 単年受診数 ^{※3} | - | 26 | 42 | 40 | - | 2 | 14 | 17 |
| ワクチン接種数 ^{※5} | - | - | 24 | 18 | - | - | 5 | 11 |

表：イヌの登録状況と動物対処室及び母島の獣医師受診状況

| 3月末時点 | 父島 | | | 母島 ^{※4} | | |
|--------------------------|--------|--------|--------|------------------|--------|--------|
| | 2017年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2017年度 | 2020年度 | 2021年度 |
| 台帳登録数 | 68 | 58 | 54 | 10 | 3 | 6 |
| 新規登録数 | 7 | 4 | 3 | 0 | 0 | 2 |
| 登録世帯数 | 54 | 49 | 46 | 10 | 3 | 6 |
| 最大多頭飼養数 | 7 | 3 | 3 | 1 | 1 | 1 |
| マイクロチップ装着率 | 67.6% | 60.3% | 64.8% | 90.0% | 100% | 100% |
| 避妊去勢率 | - | 70.7% | 68.5% | - | 66.7% | 66.7% |
| 受診率(累積) ^{※2} | 47.1% | 94.8% | 98.1% | 80.0% | 100% | 100.0% |
| 飼い主受診率(累積) ^{※2} | 48.1% | 95.9% | 97.8% | 80.0% | 100% | 100% |
| 単年受診数 ^{※3} | 36 | 56 | 44 | 8 | 3 | 7 |
| 狂注接種数 ^{※6} | - | - | 52(6) | - | - | 6 |

※1：室内飼養は外出時にリード付きも含む ※2：台帳抹消のネコ、イヌ除く

※3：台帳抹消のネコ、イヌ含む ※4：2019、20年度は母島獣医師が診療したネコ、イヌ含む

※5：対処室にて混合ワクチンを接種したネコ（内地のかかりつけ医は含まない）

※6：接種数には猶予を含み、カッコ内は猶予の件数を示す

(2) ペット条例の運用【村】

○広報

- ・リーフレットを船待3ヶ所、ビジター、遺産センター、Bシップに設置。内地の観光関係団体等に配布。
- ・パネルを船待3ヶ所、遺産センター、役場環境課ロビー、動物対処室に掲示

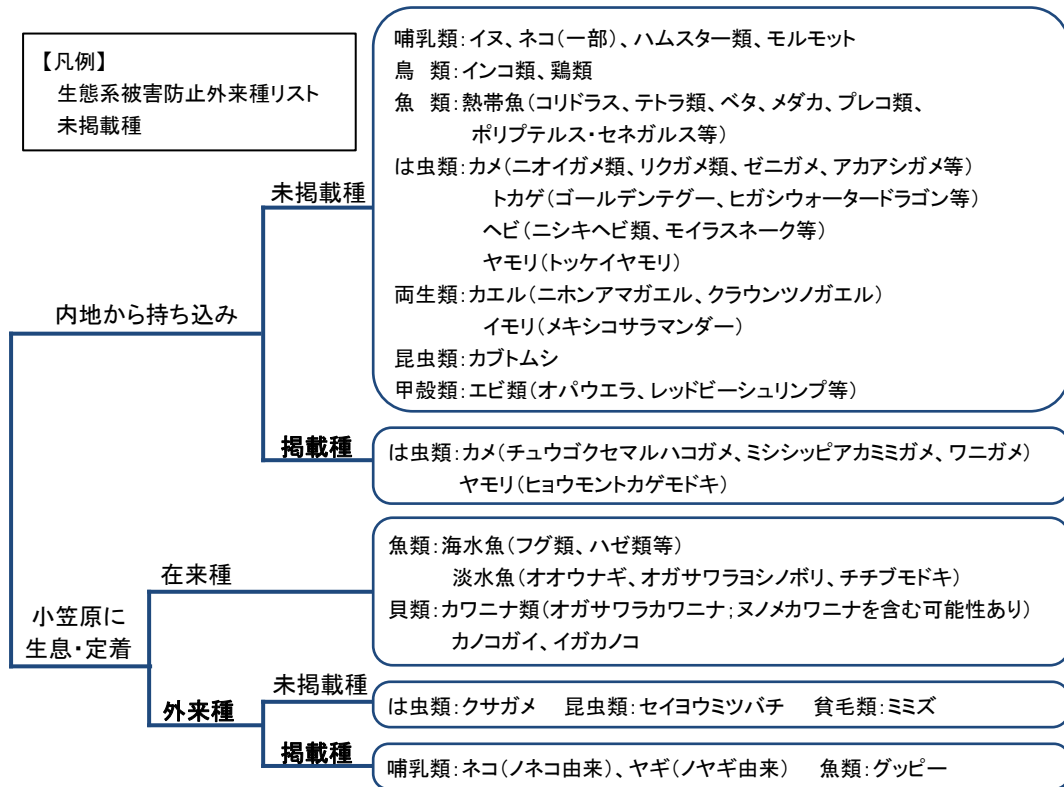
○飼養登録（令和3年4月開始）→151世帯登録（令和3年度末時点）

（内訳は下表、登録動物種は下図参照）

表：飼養登録状況

| 動物種 | ネコ | イヌ | その他 |
|------------|-----------|----------|------------|
| 登録頭数（父・母） | 73（51・22） | 60（54・6） | 127（118・9） |
| 登録世帯数（父・母） | 50（35・15） | 52（46・6） | 59（54・5） |

※ネコ、イヌ、その他のペットを複数種飼養している世帯があるため、重複がある



図：登録動物の分類

○登録飼い主向けの対応

- ・飼養登録証を発行（4月）
- ・飼い主案内を郵送にて発行（11月、3月：飼養状況報告のお願い含む）
- ・犬の飼い主への電話ヒアリング（12～1月 入手経路、適正飼養方法の意向等）

※逸走事例

- ・避妊手術未施術のネコ → 飼い主への指導・書面による是正勧告
- ・ヘビ（2度逸走） → 飼い主への防止策の指導・毎月1回の状況確認

○審議会

- ・ 今後の条例の運用に関わる助言を得るための審議会を設置（11月）
- ・ 第1回：会長互選、会運営規則の制定（11月10日）
- ・ 各委員への個別説明（1月 条例、施行規則、ガイドライン、愛玩動物WGの経緯、犬の飼い主へのヒアリング結果等）
- ・ 第2回：犬の繁殖を防止するための措置等について議論（2月16日）
- ・ 引き続き、持込み申告体制や犬の適正飼養のあり方などを検討予定

○今後の予定

- ・ 島内外への広報・普及啓発の推進
- ・ 犬猫含めた飼い主とのコミュニケーションをとりながら、適正飼養の推進と登録台帳の管理を遂行

(3) ペットの診療を通じた適正飼養指導等・飼い主の利用促進を図った無料相談の推進

【動物対処室※】

○令和3年度は、113個体（ネコ57頭、イヌ51頭、その他（ニワトリ、セキセイインコ、文鳥）5羽）へのペット診療を延べ701回（内訳は下グラフ参照）実施。

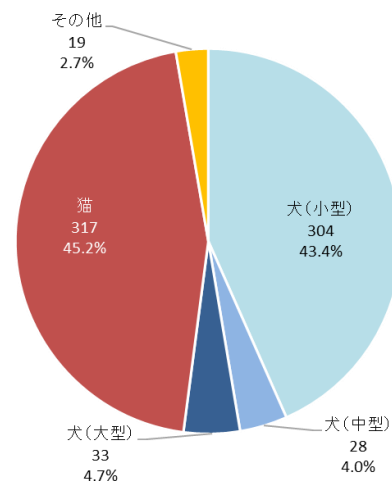
○初診の飼い主に対しては、マイクロチップの装着確認と装着推奨を実施。飼いネコへのマイクロチップ装着は3件（父2件、母1件）、避妊・去勢手術は4件（父1件、母3件（オス3頭、メス1頭））

○受診したペットへは獣医師による飼養状況の把握を行い、村に情報共有。新たなペットの飼養に関する事前相談があり、飼養開始前に適正飼養の指導を実施。

○母島巡回相談・診療を月1回実施。また、母島向けにオンライン診療を開始し、薬の処方や応急処置の指導等を実施。

○狂犬病予防注射については、イヌの飼い主に村から案内を出し、動物対処室及び母島支所にて集合接種を実施。

○診療を通じて動物対処室のペットの適正飼養の相談又は指導（飼育状況（当該動物・同居動物）の確認、飼育環境指導、食餌指導等）を実施。



図：令和3年度の動物種別の診療実績

表：令和3年度の診療内容一覧

| 診療内容（疾患名） | イヌ | ネコ | その他 |
|--------------|----|-----|-----|
| 泌尿器疾患 | 47 | 127 | 0 |
| 皮膚疾患 | 98 | 45 | 0 |
| 耳の疾患 | 91 | 16 | 0 |
| 歯・口腔内疾患 | 17 | 2 | 0 |
| 眼の疾患 | 85 | 26 | 0 |
| 循環器疾患 | 26 | 13 | 0 |
| 消化器疾患 | 18 | 53 | 6 |
| 肝・胆・膵疾患 | 39 | 24 | 0 |
| 呼吸器疾患 | 61 | 27 | 1 |
| 神経疾患 | 5 | 1 | 0 |
| 筋骨格系疾患 | 4 | 1 | 0 |
| 血液・免疫疾患 | 10 | 0 | 0 |
| 生殖器疾患 | 15 | 0 | 0 |
| 内分泌疾患 | 0 | 27 | 0 |
| 腫瘍疾患 | 19 | 5 | 0 |
| 寄生虫症 | 0 | 5 | 5 |
| 感染症 | 0 | 6 | 0 |
| 食欲不振・元気消失 | 47 | 31 | 6 |
| その他の症状・疾患 | 10 | 5 | 1 |
| 日常ケア | 45 | 10 | 0 |
| 健康診断 | 10 | 23 | 2 |
| 内外寄生虫駆除・予防 | 96 | 45 | 4 |
| ワクチン接種（狂注含む） | 35 | 35 | 0 |
| その他（物販、相談等） | 46 | 85 | 11 |

※1件で複数の診療内容の場合があるため、診療実績と診療内容数の合計は異なる。

表：令和3年度の動物種別カルテ

| 動物種 | カルテ数 |
|-------|------|
| 犬（小型） | 38 |
| 犬（中型） | 16 |
| 犬（大型） | 5 |
| 猫 | 59 |
| その他 | 7 |

※これまでに受診したその他ペット
 モルモット
 ハリネズミ
 ニワトリ
 ハムスター
 ウサギ
 セキセイインコ
 文鳥

（４）ペットの適正飼養の推進・普及啓発【村、動物協議会※】

○村民だより

- ・転入者への普及啓発（5月：村）
- ・ネコの飼い方講座（6、7月：高橋獣医師）
- ・ネコの豆知識・飼い方、避妊去勢手術の意義（8、10、11月：入交獣医師）
- ・小笠原版のペット防災について（9月：荒井獣医師）

○転入者への転入時のペット条例のパンフレット配布（随時）【村】

○飼い主案内のコラム【動物対処室】

- 11月 「小笠原でペットを飼うということ～イヌ編～：荒井獣医師」、「猫のゴロゴロについて：日下部動物看護師」
- 3月 「小さなアニマルの小笠原での過ごし方～小笠原でもヒーターは必要？～：荒井獣医師」、「しっぽの動きは犬の感情表現！？：日下部動物看護師」

(IV) 動物対処室の運営【動物協議会※】

協議会の事業を推進させることを目的に、関係機関・団体それぞれが実施している事業と連携する形で、野生動物の治療や必要に応じたノネコの処置、ペット診療及び診療行為を通じた適正飼養の指導を実施した。

- 獣医師、動物看護師、用務員（週3日程度）と事務局（環境課自然環境係）で運営
- 東獣 高橋理事との情報交換(動物の治療方針、動物対処室の運営等の相談 計14回)
- 父島・母島における犬の咬傷事故に関する情報共有（10月、1月）
- 出前授業・飼育講習
 - ・小笠原小学校1年生向けにチャボを用いた動物ふれあい授業(10月)
 - ・小笠原小学校飼育栽培委員会（4～6年生）と担当教員へのチャボの飼育講習（6月、11月、2月）
 - ・母島小学校はニワトリがいないため未実施
- 動物対処室の視察・見学対応
 - 4月 伊豆諸島各島の議員（八丈町議会 奥山幸子議長 他10名）
 - 7月 シモゾノ学園国際動物専門学校先生1名・学生2名
 - 11月 東京都家畜保健衛生所 獣医師 穴水真奈氏、佐藤詩織氏
 - 12月 東京都獣医師連盟 平見博氏、埼玉県獣医師会 中村滋氏 他2名
 - 3月 上野動物園 富田恭正副園長、吉澤円獣医師、高橋幸裕氏

表：令和3年度の事業別実績

| 事業名 | (I)野生動物の保護 | (II)飼い主のいないネコ対策 | (III)ペットの適正飼養の推進 |
|--------|--------------|-----------------|------------------|
| 診療個体数 | 14個体 | 18個体 | 113個体 |
| 診療延べ回数 | 215回 | 41回 | 701回 |
| (割合) | 22.5% | 4.3% | 73.2% |
| 平均診療回数 | 15.4回/個体 | 2.4回/個体 | 6.3回/個体 |
| 最大診療回数 | 56回/個体 | 6回/個体 | 34回/個体 |
| 診療費合計※ | 1,463,627円 | 297,275円 | 7,187,195円 |
| (割合) | 16.4% | 3.3% | 80.3% |
| 平均診療費※ | 104,545円/個体 | 18,243円/個体 | 63,603円/個体 |

参考：動物対処室の事業別作業量の推移

| 事業名 | (1)野生動物の保護 | (2)飼い主のいないネコ対策 | (3)ペットの適正飼養の推進 |
|----------|------------------|----------------|----------------|
| 平成 29 年度 | | | |
| 診療個体数 | 31個体 | 22個体 | 77頭 |
| 診療延べ回数 | 約260回 | 約190回 | 666回 |
| 割合 | 23.3% | 17% | 59.7% |
| 最大診療回数 | 86回/個体(飼育個体) | 146回/個体(糖尿病個体) | 42回/頭 |
| 平成 30 年度 | | | |
| 診療個体数 | 24個体 | 53個体 | 76頭 |
| 診療延べ回数 | 194回 | 314回 | 634回 |
| 最大診療回数 | 57回/個体 | 73回/個体 | 42回/頭 |
| 診療費合計※ | 1,712,400円 | 2,505,241円 | 6,452,890円 |
| 割合 | 16.0% | 23.5% | 60.5% |
| 令和元年度 | | | |
| 診療個体数 | 17個体(うち飼育個体5個体) | 42個体 | 72頭 |
| 診療延べ回数 | 406回(うち飼育個体191回) | 114回 | 716回 |
| 最大診療回数 | 81回/個体(飼育個体) | 17回/個体 | 52回/頭 |
| 診療費合計※ | 3,013,794円 | 988,999円 | 8,190,754円 |
| 割合 | 24.7% | 8.1% | 67.2% |
| 令和2年度 | | | |
| 診療個体数 | 15個体 | 67個体 | 109個体 |
| 診療延べ回数 | 314回 | 320回 | 671回 |
| 最大診療回数 | 56回/個体 | 52回/個体 | 38回/個体 |
| 診療費合計※ | 2,617,978円 | 3,619,737円 | 7,128,273円 |
| (割合) | 19.6% | 27.1% | 53.3% |

※平成 29 年度は診療回数、平成 30 年度からは飼い主価格をもとに作業量を比較。(I)及び(II)の診療費は作業量の目安として算出。

参考：主な野生動物の対応実績（平成 29 年度から令和 2 年度）

| 保護 | | | 種 | 保護状況 | 動物対処室等の対応状況 | | | 結果 |
|-----------------------------|----|----|-----------------|-------------------------|--------------------------------|---|----|------------------|
| 年 | 月 | 日 | | | 主な内容 | 期間 | 回数 | |
| 平成 29 年度以前に保護された個体、IBO 飼育個体 | | | | | | | | |
| 2009 | 11 | 20 | オガサワラ オオコウモリ | (飼育個体) | 血液検査、糞便検査、 皮下点滴・注射 | 2017.11/18~21 | 6 | 2017.11/21 死亡 |
| 2009 | 12 | 31 | オガサワラ オオコウモリ | (飼育個体) 健康診断、 元気低下 | 血液検査、細胞診、 皮下点滴・注射 | 2018.5/24 2019.7/4~1/28 | 26 | 飼育継続中 |
| 2011 | 9 | 15 | オガサワラ オオコウモリ | (飼育個体) 健康診断 | 血液検査、内服薬 | 2019.8/1~3/27 | 9 | 飼育継続中 |
| 2012 | 9 | 27 | オガサワラ オオコウモリ | (飼育個体) 健康診断 | 血液検査 | 2017.12/5 | 1 | 2018.2/26 死亡 |
| 2014 | 8 | 5 | オガサワラ オオコウモリ | (飼育個体) | 細菌学的検査、 皮下注射、翼膜洗浄、 外用薬塗布 | 2017.9/21~11/21 | 86 | 2017.12/11 死亡 |
| 2016 | 6 | 20 | オガサワラ オオコウモリ | (飼育個体) | 血液検査、皮下注射、 外用薬塗布 | 2017.6/23~7/20 | 20 | 2020.8/10 死亡 |
| 2016 | 8 | 25 | オガサワラ オオコウモリ | (飼育個体) 爪の外傷 | 皮膚検査、外用薬塗布、 内服薬、皮下注射 | 2018.5/10~5/23、 8/16~8/21 2019.10/1~3 | 9 | 飼育継続中 |

| 保護 | | | 種 | 保護状況 | 動物対処室等の対応状況 | | | 結果 |
|---|---|----|-----------------|---------------------------|---------------------------------------|----------------------------|----|---|
| 年 | 月 | 日 | | | 主な内容 | 期間 | 回数 | |
| 2017 | 1 | 4 | オガサワラ オオコウモリ | (飼育個体) 翼膜の外傷 | 血液検査、外用薬塗布、 皮下点滴・注射、 翼膜洗浄・消毒 | 2019.10/14~3/27 | 81 | 飼育継続中 |
| 2018 | 8 | 15 | オガサワラ オオコウモリ | (IBO産まれ 飼育個体) 翼膜の外傷 | 血液検査、外用薬塗布、 皮下点滴・注射、 翼膜洗浄・消毒 | 2019.11/21~1/28 | 74 | 飼育継続中 |
| 平成 29 年度 下記の他、海鳥類 11 羽(シロハラミズナギドリ 2 羽、セグロミズナギドリ 1 羽、カツオドリ 2 羽、 コゲンカンドリ 1 羽、ハワイセグロミズナギドリ 1 羽、アナドリ 2 羽、オナガミズナギドリ 1 羽、 シラオネッタイチチョウ 1 羽)、その他の鳥類 10 羽を治療 | | | | | | | | |
| 2017 | 4 | 17 | オガサワラ オオコウモリ | 北袋沢 キュウリネット 絡まり | 血液検査、外用薬塗布、 皮下点滴・注射、内服薬 | 2017.4/18~6/1 2018.5/26 | 71 | 2018.5/27 野生復帰 |
| 2017 | 7 | 6 | オガサワラ オオコウモリ | 扇浦 キュウリネット 絡まり | 血液検査、外用薬塗布、 皮下点滴・注射 | 2017.7/7~13 | 12 | 2017.7/13 野生復帰 |
| 2017 | 8 | 22 | アカガシラ カラスバト | 大根山汚水処 理場の沈殿槽 に落下 | スワブ検査、皮膚検査、 保温、皮下点滴・注射、 外部寄生虫駆除 | 2017.8.22 | 1 | 2017.8/23 死亡 |
| 2017 | 8 | 25 | オガサワラ オオコウモリ | 農セン展示園 | 血液検査、保温、 皮下点滴・注射、 外部寄生虫駆除 | 2017.8/25 | 1 | 2017.8/26 死亡 |
| 2017 | 9 | 4 | コアホウドリ | 父島周辺の 海上 | レントゲン検査、保温、 皮下点滴・注射、 外部寄生虫駆除 | 2017.9/4~14 | 5 | 2017.9/15 野生復帰 |
| 2018 | 1 | 31 | アカガシラ カラスバト | 清瀬(若鳥) | 糞便検査、強制給餌、 皮下点滴・注射、内服薬 | 2018.1/31~2/9 | 10 | 2018.2/19 野生復帰 |
| 平成 30 年度 下記の他、カツオドリ、アナドリ 2 羽、メダイチドリ、トラツグミを治療 | | | | | | | | |
| 2018 | 5 | 11 | オガサワラ オオコウモリ | コーヒー山 高木果樹 ネット絡まり | 血液検査、外用薬塗布、 皮下点滴・注射 | 2018.5/11~23 | 21 | 2018.5/24 野生復帰 |
| 2018 | 6 | 15 | オガサワラ ノスリ | 小港口ータリ ーで衰弱 | 皮下点滴・注射 | 2018.6/15~16 | 2 | 2018.6/17 死亡 |
| 2018 | 6 | 27 | アカガシラ カラスバト | 小学校の窓ガ ラスに衝突 | 死亡確認 | 2018.6/27 | 1 | 2018.6/27 死亡 |
| 2018 | 7 | 3 | オガサワラ オオコウモリ | 母島キュウリ ネット絡まり | 血液検査、外用薬塗布、 皮下点滴・注射 ※母島応急処置あり | 2018.7/4~7/26 | 33 | 2018.8/3 野生復帰 (母島) →2019.6.1 死亡発見 |
| 2018 | 7 | 3 | オガサワラ オオコウモリ | 母島ハウス 侵入(絡まり) | 血液検査、外用薬塗布、 皮下点滴・注射 ※母島応急処置あり | 2018.7/4~6 | 3 | 2018.7/7 野生復帰 (母島) |
| 2018 | 7 | 3 | オガサワラ オオコウモリ | 母島ハウス 侵入(絡まり) | 血液検査、外用薬塗布、 皮下点滴・注射 ※母島応急処置あり | 2018.7/4~6 | 3 | 2018.7/7 野生復帰 (母島) |
| 2018 | 7 | 3 | オガサワラ オオコウモリ | 母島キュウリ ネット絡まり | 血液検査、外用薬塗布、 皮下点滴・注射 ※母島応急処置あり | 2018.7/4~13 | 18 | 2018.7/14 野生復帰 (母島) |
| 2018 | 8 | 8 | アカガシラ カラスバト | テグス絡まり | 皮下点滴・注射 | 2018.8/8~9 | 2 | 2018.8/9 死亡 |

| 保護 | | | 種 | 保護状況 | 動物対処室等の対応状況 | | | 結果 |
|-------------------|----|----|---------------------|-----------------------|---|------------------------|----|----------------------------|
| 年 | 月 | 日 | | | 主な内容 | 期間 | 回数 | |
| 2018 | 8 | 27 | オガサワラ オオコウモリ | 都道脇にて 親からの脱落 | 血液検査、 皮下点滴・注射 | 2018.8/27~29、 10/24 | 4 | 飼育継続中 |
| 2018 | 10 | 12 | オガサワラ オオコウモリ | 桑の木山 有刺鉄線 絡まり | 血液検査、外用薬塗布、 皮下点滴・注射 | 2018.10/12~11/27 | 57 | 2019.1/15 野生復帰 |
| 2018 | 10 | 22 | オーストン ウミツバメ | 扇浦で人工灯 誘因 | 皮下点滴・注射 | 2018.10/22 | 1 | 2019.10/24 死亡 |
| 2019 | 1 | 4 | アカガシラ カラスバト | 西町で人工物 衝突 | 皮下点滴・注射、 強制給餌 | 2018.1/5 | 2 | 2019.1/6 死亡 |
| 2019 | 1 | 26 | オガサワラ オオコウモリ | 奥村で衰弱 (幼獣) | 血液検査、外用薬塗布、 皮下点滴・注射 | 2019.1/26 | 1 | 2019.1/31 死亡 |
| 2019 | 1 | 31 | オガサワラ オオコウモリ | 二見港で衰弱 (亜成獣) | 血液検査、 皮下点滴・注射 | 2019.1/31 | 1 | 2019.1/31 死亡 |
| 2019 | 3 | 16 | アカガシラ カラスバト | 長谷トンネル 交通事故 | 皮下点滴・注射、 強制給餌、ICU(入院、 保温) | 2019.3/16~26 | 17 | 2019.3/26 多摩動物 公園へ搬送 |
| 2019 | 3 | 24 | アカガシラ カラスバト | 宮之浜道で 電線衝突 | レントゲン検査、 皮下点滴・注射、 ICU(入院、保温)、包帯 | 2019.3/24~26 | 5 | 2019.3/26 上野動物園 へ搬送 |
| 令和元年度 下記の他、メジロを治療 | | | | | | | | |
| 2019 | 4 | 6 | オガサワラ オオコウモリ | 東町 テグス絡まり | 血液検査、外用薬塗布、 皮下点滴・注射、 翼膜洗浄・消毒 | 2019.4/6~7/5 | 44 | 2019.7/9 野生復帰 |
| 2019 | 4 | 6 | オガサワラ オオコウモリ | 北袋沢 キュウリネット 絡まり | 血液検査、外用薬塗布、 皮下点滴・注射、 翼膜洗浄・消毒 | 2019.4/6~7/8 | 56 | 2019.7/9 野生復帰 |
| 2019 | 5 | 10 | オガサワラ オオコウモリ | 奥村 防鳥ネット 絡まり | 血液検査、外用薬塗布、 皮下点滴・注射、 翼膜洗浄・消毒 | 2019.5/10~6/25 | 30 | 2019.7/5 野生復帰 |
| 2019 | 5 | 20 | オガサワラ オオコウモリ | 母島元地 ネット絡まり | 血液検査、外用薬塗布、 皮下点滴・注射、 翼膜洗浄・消毒 ※母島応急処置あり | 2019.5/21~6/25 | 24 | 2019.6/29 野生復帰 (母島) |
| 2019 | 6 | 21 | オガサワラ オオコウモリ | 北袋沢 ハウス 迷い込み | 血液検査、外用薬塗布、 皮下点滴・注射、 翼膜洗浄・消毒 | 2019.6/21~7/2 | 7 | 2019.7/5 野生復帰 |
| 2019 | 7 | 4 | アカガシラ カラスバト | 奥村 ガラス扉内 迷い込み | 糞便検査、強制給餌、 皮下点滴・注射、内服薬 | 2019.7/4~25 | 21 | 2019.7/27 野生復帰 |
| 2019 | 7 | 9 | アカオ ネットアイ チョウ | おが丸 うずくまり | 皮下点滴・注射、 ICU(入院・保温)、 食餌介助 | 2019.7/9~26 | 19 | 2019.7/27 野生復帰 |
| 2019 | 7 | 21 | アカガシラ カラスバト | 大神山公園 ガラス衝突 | レントゲン検査、 皮下点滴・注射、 糞便検査 | 2019.7/21~26 | 6 | 2019.7/27 野生復帰 |
| 2019 | 7 | 29 | オナガ ミズナギドリ | 三日月山 うずくまり | 診察 | 2019.7/29 | 1 | 2019.8/2 野生復帰 |
| 2019 | 8 | 9 | オガサワラ ノスリ | 北袋沢 うずくまり | 血液検査、 皮下点滴・注射、 ICU(入院・保温) | 2019.8/9~12 | 4 | 2019.8/12 死亡 |

| 保護 | | | 種 | 保護状況 | 動物対処室等の対応状況 | | | 結果 |
|-------|----|----|---------------------|-----------------------|---|--------------------------|----|--|
| 年 | 月 | 日 | | | 主な内容 | 期間 | 回数 | |
| 2019 | 9 | 7 | オガサワラ オオコウモリ | 西町 枝ぶらさがり | 眼科検査 | 2019.9/7 | 1 | 2019.9/8 野生復帰 |
| 令和2年度 | | | | | | | | |
| 2020 | 4 | 14 | アカガシラ カラスバト | 大神山公園 うずくまり | 皮下点滴・注射、 ICU(入院・保温)、 糞便検査、翼洗浄・消毒 | 2020.4/14~19 | 12 | 2020.4/19 多摩動物 公園へ搬送 |
| 2020 | 7 | 28 | オガサワラ オオコウモリ | 農セン内 バナナの 繊維絡まり | 血液検査、 皮下点滴・注射、 翼膜洗浄・消毒 | 2020.7/29~9/7 | 49 | 2020.9/8 野生復帰 |
| 2020 | 7 | 29 | アカオ ネットアイ チョウ | おが丸 うずくまり | レントゲン検査、皮下点 滴・注射、強制給餌、 ICU(入院・保温) | 2020.7/29~8/1 | 6 | 2020.8/1 上野動物園 へ搬送 |
| 2020 | 8 | 12 | オガサワラ ノスリ | 中山峠 うずくまり | 皮下点滴・注射、 ICU(入院・保温)、 強制給餌、糞便検査 | 2020.8/12~21 | 14 | 2020.8/21 野生復帰 |
| 2020 | 11 | 12 | オガサワラ オオコウモリ | 西町 骨折・衰弱 (亜成獣) | 皮下点滴・注射、 翼膜洗浄・消毒、 レントゲン検査、血液検 査 | 2020.11/16~17 | 4 | 2020.11/17 上野動物園 へ搬送 |
| 2020 | 12 | 16 | オガサワラ オオコウモリ | 長谷 ネット絡まり (妊娠♀) | レントゲン検査、 血液検査、皮下点滴・注 射、翼膜洗浄・消毒 | 2020.12/16~ 2021.2/16 | 56 | 2021.4/5 リハビリ経て 野生復帰 |
| 2020 | 12 | 21 | オガサワラ オオコウモリ | 長谷 ネット絡まり (妊娠♀) | 血液検査、皮下点滴・注 射、翼膜洗浄・消毒 | 2020.12/21~ 2021.2/16 | 50 | 2021.4/5 リハビリ経て 野生復帰 |
| 2021 | 1 | 4 | アカガシラ カラスバト | 旭平 うずくまり | レントゲン検査、皮下点 滴・注射、強制給餌、包 帯法、 ICU(入院・保温) | 2021.1/4~10 | 12 | 2021.1/10 上野動物園 へ搬送 (1/14 死亡) |
| 2021 | 3 | 12 | オガサワラ オオコウモリ | 長谷 ネット絡まり (妊娠♀) | 血液検査、皮下点滴・注 射、 翼膜洗浄・消毒、爪切り | 2021.3/12~4/1 | 28 | 2021.4/5 野生復帰 |
| 2021 | 3 | 12 | オガサワラ オオコウモリ | 長谷 ネット絡まり | 血液検査、皮下点滴・注 射、 翼膜洗浄・消毒、爪切り | 2021.3/12~30 | 24 | 2021.4/1 野生復帰 |
| 2021 | 3 | 12 | オガサワラ オオコウモリ | 長谷 ネット絡まり | 血液検査、皮下点滴・注 射、 翼膜洗浄・消毒、爪切り | 2021.3/12~22 | 11 | 2021.3/26 野生復帰 |
| 2021 | 3 | 13 | オガサワラ オオコウモリ | 長谷 ハウス 迷い込み | 血液検査、皮下点滴・注 射、 翼膜洗浄・消毒、爪切り | 2021.3/13~4/1 | 17 | 2021.4/1 野生復帰 |
| 2021 | 3 | 13 | オガサワラ オオコウモリ | 長谷 ハウス 迷い込み | 血液検査、皮下点滴・注 射、 翼膜洗浄・消毒、爪切り | 2021.3/13~19 | 8 | 2021.3/20 野生復帰 |
| 2021 | 3 | 13 | オガサワラ オオコウモリ | 長谷 ハウス 迷い込み | 血液検査、皮下点滴・注 射、 翼膜洗浄・消毒、爪切り | 2021.3/13~19 | 8 | 2021.3/20 野生復帰 |
| 2021 | 3 | 13 | オガサワラ オオコウモリ | 長谷 ハウス 迷い込み | 血液検査、皮下点滴・注 射、 翼膜洗浄・消毒、爪切り | 2021.3/13~30 | 16 | 2021.4/1 野生復帰 |